

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M212U202		高齢者支援システム論 (Support System for the Elderly)					老年看護学							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	2	医学部看護学科	後期	火3,火4	日本語		複数(共同)						
担当教員	氏名 小野光美・三重野英子・阿部世史美													
	E-mail mitsumi@ 内線 5091													
授業の概要	高齢者とその家族が、地域社会の中で、健康に安心して暮らし続けられるよう看護を提供するための知識として、高齢者の生活に関連する年金・医療・保健・福祉・介護・権利擁護に関する制度の変遷、現行制度のしくみと課題を学修する。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 1. 高齢者とその家族の暮らしを支える現行の法律・制度・施策の歴史的変遷、目的、対象、基本構造・しくみを説明する								○				○		
目標2 地域包括ケアシステムや地域共生社会の目的と構造を理解し、今日の/将来的課題を説明する								○		○		○		
目標3														
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								4		2		4		
授業の内容														
1	1. 高齢者・家族の暮らしを支える 法律・制度・施策 1)歴史的変遷と全体像													
2	1. 高齢者・家族の暮らしを支える 法律・制度・施策 2)年金、医療、保健、福祉に関する法律・制度・施策													
3	1. 高齢者・家族の暮らしを支える 法律・制度・施策 3)インフォーマル・サポート													
4	1. 高齢者・家族の暮らしを支える 法律・制度・施策 4)介護保険制度および地域包括ケアシステム													
5	1. 高齢者・家族の暮らしを支える 法律・制度・施策 5)権利擁護・生活の質保証に関する法律・制度・施策													
6	2. 地域包括ケアシステム・地域共生社会の今日の/将来的課題 ・最期まで健康的で豊かに過ごせるまちづくりとは													
7	2. 地域包括ケアシステム・地域共生社会の今日の/将来的課題 ・最期まで健康的で豊かに過ごせるまちづくりとは													
8	2. 地域包括ケアシステム・地域共生社会の今日の/将来的課題 ・最期まで健康的で豊かに過ごせるまちづくりとは													
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
ライクニング	A:知識の定着・確認	○	A:事前学習課題、小テスト、学習記録による振り返り					工夫の他の	・膨大な知識を系統的に整理・理解し、実践に使えるよう小テストや事例検討を行う。					
	B:意見の表現・交換	○	B:発問、グループ検討											
	C:応用志向	○	C:事例検討・発表											
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	指定された事前学習課題に個人で取り組む。教科書や国民衛生の動向等を用い、次回の学修内容について予習する。(12h)。												
	事後学修	授業資料、小テスト、教科書、国民衛生の動向等を用い、授業で学修した内容を復習する。(11h)												
	想定時間合計	23												
教科書	・厚生労働統計協会(2025):厚生指標 増刊 国民の福祉と介護の動向、72(10)、厚生労働統計協会、東京。(ISBN:) ・厚生労働統計協会、国民衛生の動向、2023/2024(1年次「地域看護学概論」教科書)(ISBN:0452-6104)													
参考書	・北川公子著者代表(2025):系統看護学講座 専門分野 老年看護学(第10版)、医学書院、東京。(ISBN:978-4-260-05689-2) ・水谷信子他監修、三重野英子他編集(2025):最新老年看護学(第4版)2025年版、日本看護協会出版会、東京。(ISBN:978-4-8180-2785-5) ・鈴木豊、河村愛子、小林夏紀、他編集(2025):医療福祉総合ガイドブック2025年度版、医学書院、東京。(ISBN:)													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験		80%	○	○								
	事前課題		20%	○	○								
注意事項	毎回、学修記録の提出（Moodleアンケート）をもって出席状況を確認する。												
備考	適時、授業資料や教材をMoodleにアップロードする（アップロード時、メールで通知）。												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	小野 光美・阿部世史美（看護師、保健師）、三重野 英子（看護師）												
教員以外で 指導に関わる 実務経験者の有無	○												
教員以外 の指導に関 わる実務 経験者	山内 勇人（医師）												
実務経験を いかした教 育内容	地域で生活することを見通した看護実践の経験をもとに、法律・制度・施策の基本的なしくみや課題，将来の展望について講義する。また、地域のネットワークをもとに実情を反映した事例を設定し、学生の学びを支援する。												